

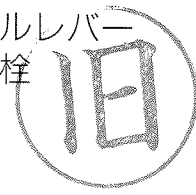
プレッツォ水栓



一般地用
SF-1435S

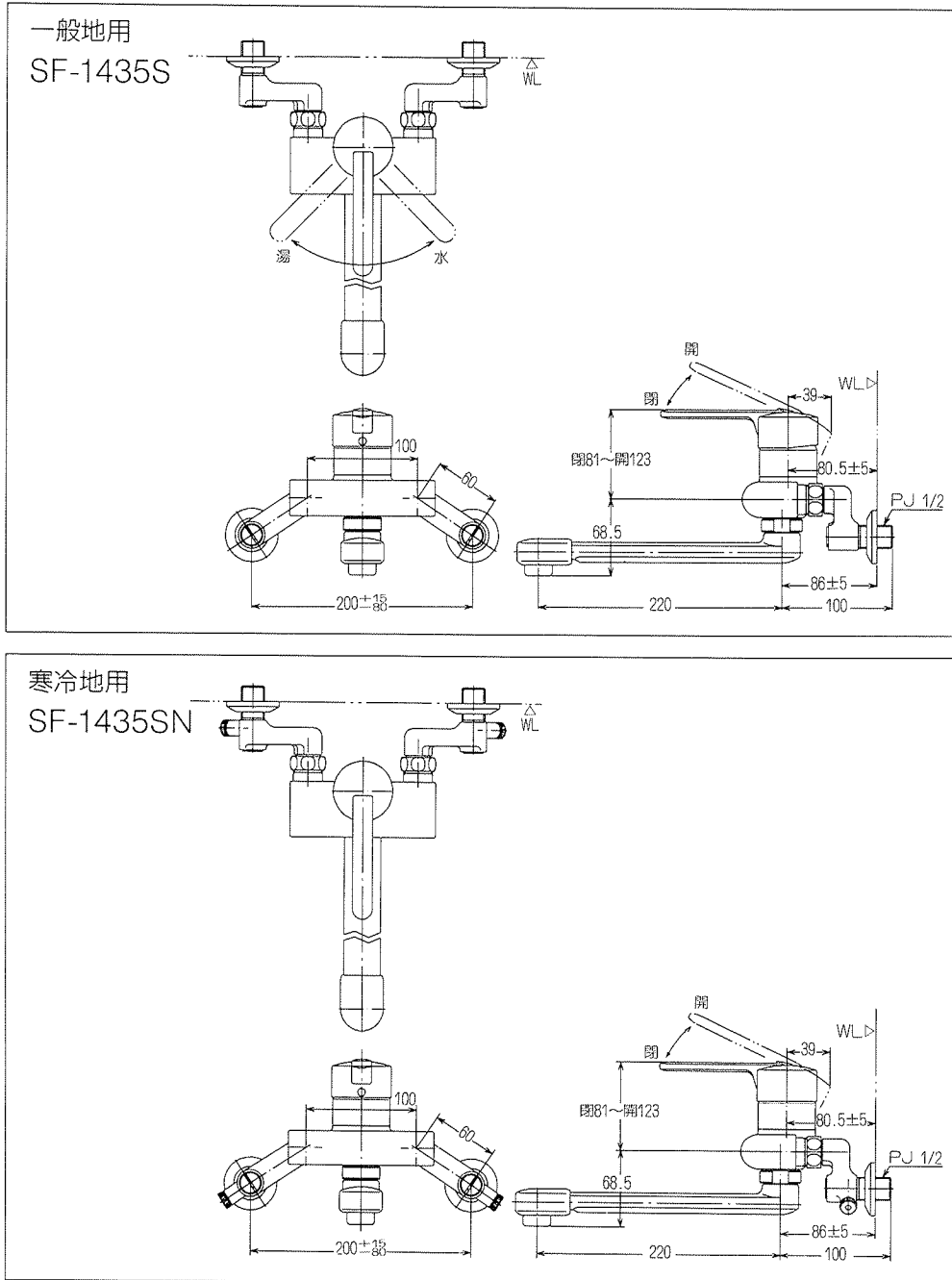
寒冷地用
SF-1435SN

シングルレバー
混合水栓



商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図



●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠ 注 意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●使用条件

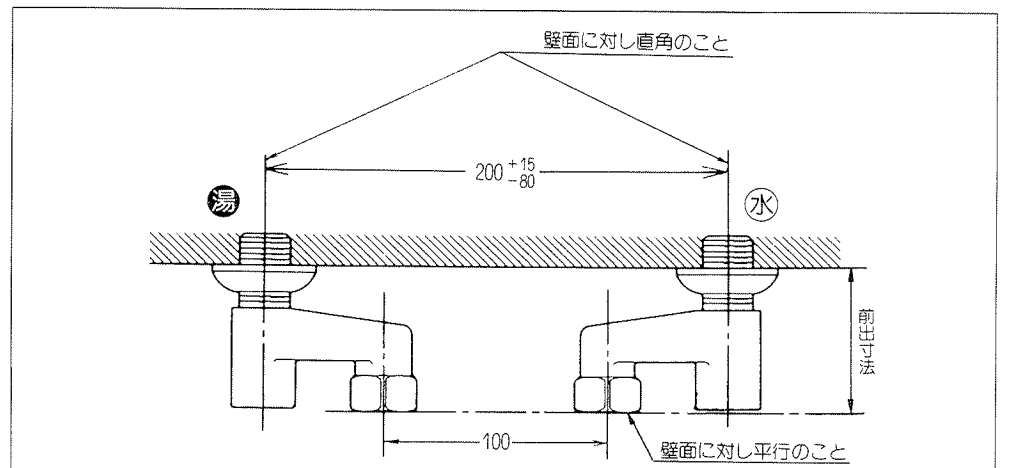
- 給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器(比例制御式：16号相当)と組み合わせる場合〕
給水圧力 { 最低必要圧力-----0.01MPa {0.1kgf/cm²}
最高圧力-----0.74MPa {7.5kgf/cm²}
※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
- 測定条件
- ※レバーハンドルは全開です。
- ※ガス給湯器との組み合わせ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度42℃）によるものです。
- ※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
- ※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。
- 〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
給水・給湯圧力 { 最低必要圧力-----0.05MPa {0.5kgf/cm²}
最高圧力-----0.74MPa {7.5kgf/cm²}
●温度調節が容易で使い勝手をよくするために給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。
- 給水圧力が0.74MPa{7.5kgf/cm²}を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力0.20MPa{2kgf/cm²}程度に減圧してください。
- 給湯に蒸気は使用できません。

●施工前のご注意

- 給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
- 商品の表面には直接工具を掛けしないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
- 必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●施工方法

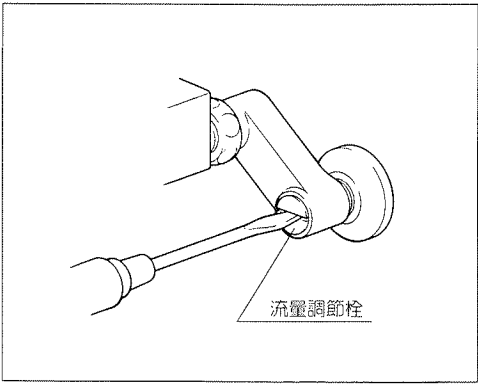
湯側、水側の取付脚は壁からの前出寸法が同一になるよう取り付けます。



●施工後の調節認

●流量調節

水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が0.20MPa{2kgf/cm²}を超える場合は、湯と水の吐出量がほぼ同じになるように水側の流量調節栓を絞ってください。



●引渡前の確認

引渡前の調節および故障時の点検は以下の要領で行ってください。
 ※この商品はウォーターハンマー低減機構を採用しています。
 レバーハンドルを急に下げると抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが、故障ではありません。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現 象	点 検 内 容	点検箇所	処 置
流量が少ない	ゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	流量調節栓が開かれているか？	③	流量調節栓の開度で調節する。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。

